

平成20年 3月期 中間決算短信

平成19年10月30日

上場会社名 住友金属工業株式会社
 コード番号 5405
 代表者(役職名)代表取締役社長
 問合せ先責任者(役職名)広報グループ長

(氏名) 友野 宏
 (氏名) 松井 俊文

上場取引所 東 大 名 札 福
 U R L <http://www.sumitomometals.co.jp/>

T E L (03) 4416 - 6115

半期報告書提出予定日 平成19年12月19日

配当支払開始予定日

平成19年12月 3日

(百万円未満切捨て)

1. 19年 9月中間期の連結業績 (平成19年 4月 1日 ~ 平成19年 9月30日)

(1) 連結経営成績

(% 表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 9月中間期	847,807	10.4	141,730	4.9	152,768	2.1	96,907	2.9
18年 9月中間期	768,222	5.2	135,128	6.7	156,007	18.3	99,784	8.4
19年 3月期	1,602,720	-	303,774	-	327,676	-	226,725	-

	1株当たり中間 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年 9月中間期	21.15	21.14
18年 9月中間期	20.78	20.77
19年 3月期	47.89	47.87

(参考) 持分法投資損益 19年 9月中間期 21,362百万円 18年 9月中間期 24,570百万円 19年 3月期 41,803百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年 9月中間期	2,405,676	929,154	36.7	194.13
18年 9月中間期	2,120,363	829,505	37.1	163.98
19年 3月期	2,301,556	924,798	38.3	189.81

(参考) 自己資本 19年 9月中間期 881,972百万円 18年 9月中間期 787,336百万円 19年 3月期 880,807百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年 9月中間期	91,594	50,697	40,616	13,558
18年 9月中間期	74,689	43,621	38,496	25,512
19年 3月期	171,833	108,934	83,456	13,020

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	中間期末	第3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
19年 3月期	-	3.50	-	4.50	8.00
20年 3月期(実績)	-	5.00	-	-	-
20年 3月期(予想)	-	-	-	5.00	10.00

3. 20年 3月期の連結業績予想 (平成19年 4月 1日 ~ 平成20年 3月31日)

(% 表示は対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	1,730,000	7.9	285,000	6.2	305,000	6.9	190,000	16.2	41.82

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ① 以外の変更 無

〔(注)詳細は、16ページ「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 19年9月中間期 4,805,974,238株 18年9月中間期 4,805,974,238株 19年3月期 4,805,974,238株
② 期末自己株式数 19年9月中間期 262,864,446株 18年9月中間期 4,596,342株 19年3月期 165,450,538株

(注) 1株当たり中間(当期)純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、19ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 19年9月中間期の個別業績 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年9月中間期	550,067	11.1	105,975	8.8	115,314	9.5	72,566	6.2
18年9月中間期	495,148	10.0	116,170	11.4	127,372	41.1	77,332	79.5
19年3月期	1,031,416	-	238,544	-	240,643	-	139,254	-

	1株当たり中間 (当期)純利益
	円銭
19年9月中間期	15.83
18年9月中間期	16.10
19年3月期	29.41

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
19年9月中間期	1,935,577	667,870	34.5	147.00
18年9月中間期	1,721,022	673,474	39.1	140.26
19年3月期	1,873,779	690,830	36.9	148.86

(参考) 自己資本 19年9月中間期 667,870百万円 18年9月中間期 673,474百万円 19年3月期 690,830百万円

2. 20年3月期の個別業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,130,000	9.6	210,000	12.0	215,000	10.7	130,000	6.6	28.61

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

通期の業績予想につきましては、平成19年7月31日に発表いたしました予想を修正しております。

なお、本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3～6ページ「1. 経営成績(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

a. 当中間期の経営成績

【当中間期の経営環境】

当中間期の鋼材需要は、安定した世界経済のもと堅調に推移しました。当社グループの得意とする高級品についても、タイトな需給環境が継続しました。原料価格は、非鉄金属、海上運賃を中心として前期に続いて上昇しました。

【企業集団の経営施策】

当社グループは『中期経営計画 2006～2008』に基づき、鹿島製鉄所第3高炉の改修による生産能力拡大や、自動車用薄板・シームレスパイプ等の高級品の製造設備を増強し、差別化を加速する施策を進めてきました。また、質を重視した成長戦略の一環として、ブラジルにおいて2010年の年央の稼働を目指し、高級シームレスパイプの製造合弁会社を設立しました。

一方、コスト削減に全力を挙げるとともに、原料価格が上昇する中、お客様のご理解を賜りながら価格改善にも注力しました。

【当中間期の業績】

当中間期の連結決算は、売上高 8,478 億円（対前中間期 795 億円増）、営業利益 1,417 億円（対前中間期 66 億円増）、経常利益 1,527 億円（対前中間期 32 億円減）、中間純利益は 969 億円（対前中間期 28 億円減）となりました。

単独決算は、売上高 5,500 億円（対前中間期 549 億円増）、営業利益 1,059 億円（対前中間期 101 億円減）、経常利益 1,153 億円（対前中間期 120 億円減）、中間純利益 725 億円（対前中間期 47 億円減）となりました。

(セグメント別の状況)

<鉄鋼事業>

鋼管カンパニー

BRICs とアジアの経済成長によるエネルギー需要拡大を背景に、石油・天然ガス開発で使用される高級シームレスパイプ、大径溶接鋼管などの需要は堅調です。

当社は、本年 7 月、フランスの高級シームレスパイプメーカーのパローレック社とブラジルにおいてシームレスパイプの製造合併会社を設立するなど、強いところをより強くする投資を進めています。2010 年の本プロジェクト稼働後は、当社シームレスパイプ年産 160 万トン(30 万トン増)のグローバル供給体制を確立し、さらなる収益向上を実現していきます。

特殊管事業所(尼崎)などでステンレスボイラチューブの設備増強を実施し、本年 10 月に稼働開始しました。これで、中国・欧州を中心とした高効率な石炭焚き超々臨界圧ボイラの需要増加に対応します。

鋼管カンパニーの連結売上高は 3,343 億円となりました。

鋼板・建材カンパニー

鹿島製鉄所では、本年 5 月に第 3 高炉の拡大改修が完了し、上工程から下工程までバランスの取れた粗鋼年産 800 万トンの生産体制となり、世界トップレベルのコスト競争力で高級品を量産する製鉄所としての体制を確立しました。

薄板については、自動車用鋼板の高級化と需要量増加に対応して、本年 9 月に冷間圧延設備と直結した新連続式酸洗設備が稼働を開始し、昨年 12 月に稼働開始した第 3 溶融亜鉛めっき鋼板設備とあわせ、自動車向け高級鋼板を高効率で量産する体制が整いました。

また、厚板工場の能力を年産 190 万トンから 200 万トンに増強し、さらにエネルギー関連向け高級品の品質を向上させるために、本年 11 月の完成を目指し、加熱炉の新設などを進めています。

加えて、安定収益の期待できる事業として、鹿島製鉄所で 50 万 kW の電力卸供給(IPP)用発電設備が本年 6 月に営業運転を開始しました。

鋼板・建材カンパニーの連結売上高は 2,990 億円となりました。

交通産機品カンパニー

鉄道車両品事業では、鉄道車両高速化・静粛化、部品の軽量化・信頼性向上を目指し、研究開発に注力しています。その成果として、本年 7 月に運転を開始した新型新幹線 N700 系向けに、当社は振動・騒音を大幅に低下させた駆動装置と歯車継手を納入しています。

自動車用鍛造クランクシャフト事業では、大阪の製鋼所、米国のインターナショナルクランクシャフト社、中国の惠州住金鍛造有限公司の世界 3 極体制で、世界シェア 10%以上を目指す「グローバル 10」を進めています。その一環として、当社は住友商事株式会社と共同で、米国のクランクシャフト機械加工メーカーであるノートン社を買収することを、同社と本年 8 月に合意しました。

交通産機品カンパニーの連結売上高は 509 億円となりました。

住友金属小倉

自動車向けの高級特殊鋼棒鋼・線材需要は、堅調に推移しています。

本年 2 月、2010 年 3 月の完成に向けて、製鋼プロセス革新投資の工事を開始しました。世界トップレベルの品質と抜本的なコスト削減を目指します。

これらに株式会社住友金属直江津等を合わせた鉄鋼事業の連結売上高は 7,894 億円、連結営業利益は 1,402 億円となりました。

<エンジニアリング事業>

国内公共投資の減少等により、厳しい事業環境が継続しています。選択と集中の観点で事業の再構築を進めています。

システム建築事業の強化のために、本年 10 月に、当社グループ内のシステム建築事業を統合し、株式会社住金システム建築を設立しました。新しい体制で競争力向上、事業の拡大を目指します。

エンジニアリング事業の連結売上高は 71 億円、連結営業利益は 2 億円となりました。

<エレクトロニクス事業>

エレクトロニクス事業の連結売上高は 303 億円、連結営業利益は 0 億円となりました。

<その他の事業>

上記事業の他、その他の事業の連結売上高は 208 億円、連結営業利益は 20 億円となりました。

b. 当期の見通し

当下半期は、原油価格の高騰や米国のサブプライムローン問題の経済への悪影響が懸念されますが、鋼材の需要、なかでもエネルギー・自動車向けを主体とする高級品の需要は堅調に推移すると予想しています。原料価格については、非鉄金属、海上運賃などが上昇基調にあり、当社グループでは、引き続きコスト削減と鋼材価格の改善に努めます。

当期の連結決算は、売上高 17,300 億円、営業利益 2,850 億円、経常利益 3,050 億円、当期純利益 1,900 億円、単独決算は、売上高 11,300 億円、営業利益 2,100 億円、経常利益 2,150 億円、当期純利益 1,300 億円と予想しています。

なお、上記の業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

『中期経営計画2006～2008』の進捗状況

(億円)

	中期経営計画 2008 年度計画 (2005 年度策定)	2007 年度見通し
売上高	16,200 程度	17,300 程度
営業利益	3,000 程度	2,850 程度
経常利益	2,900 程度	3,050 程度
当期利益	1,800 程度	1,900 程度
総資産	23,800 程度	24,500 程度
借入金	6,800 程度	8,150 程度
自己資本	10,700 程度	9,500 程度
ROA	13% 程度	13% 程度
自己資本比率	45% 程度	39% 程度

$$ROA = (\text{経常利益} + \text{支払利息}) \div \text{総資産} \times 100$$

(2) 財政状態に関する分析

原料価格の上昇による棚卸資産の増加や、「差別化の加速」に向けた設備投資を推進したこと等により、当中間期末の連結総資産は前期末対比 1,041 億円増加し 2 兆 4,056 億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益を主体とした収入から法人税等の支払を差し引き、915 億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、「差別化の加速」に向けた設備投資を主体に 506 億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済、社債の償還、配当金の支払に加え、自己株式取得による支出を借入金の増加で対応し、406 億円の支出となりました。

上記の結果、当中間期末の現金及び現金同等物の残高は前期末対比 5 億円増加し 135 億円となり、借入残高は 604 億円増加し 7,784 億円となりました。

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度 中間期
自己資本比率	25.1%	34.1%	38.3%	36.7%
時価ベースの 自己資本比率	48.2%	114.8%	127.2%	133.9%
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	3.3	2.2	4.4	-
インタレスト・カバ レッジ・レシオ	15.0	24.8	14.9	12.8

自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：借入残高 / (営業キャッシュ・フロー - 利払い)
(中間期は記載しておりません。)

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー / 利払い

いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

借入残高は借入金・社債・コマーシャルペーパーを合わせた残高から現預金残高を控除した実質的な借入残高を使用しております。

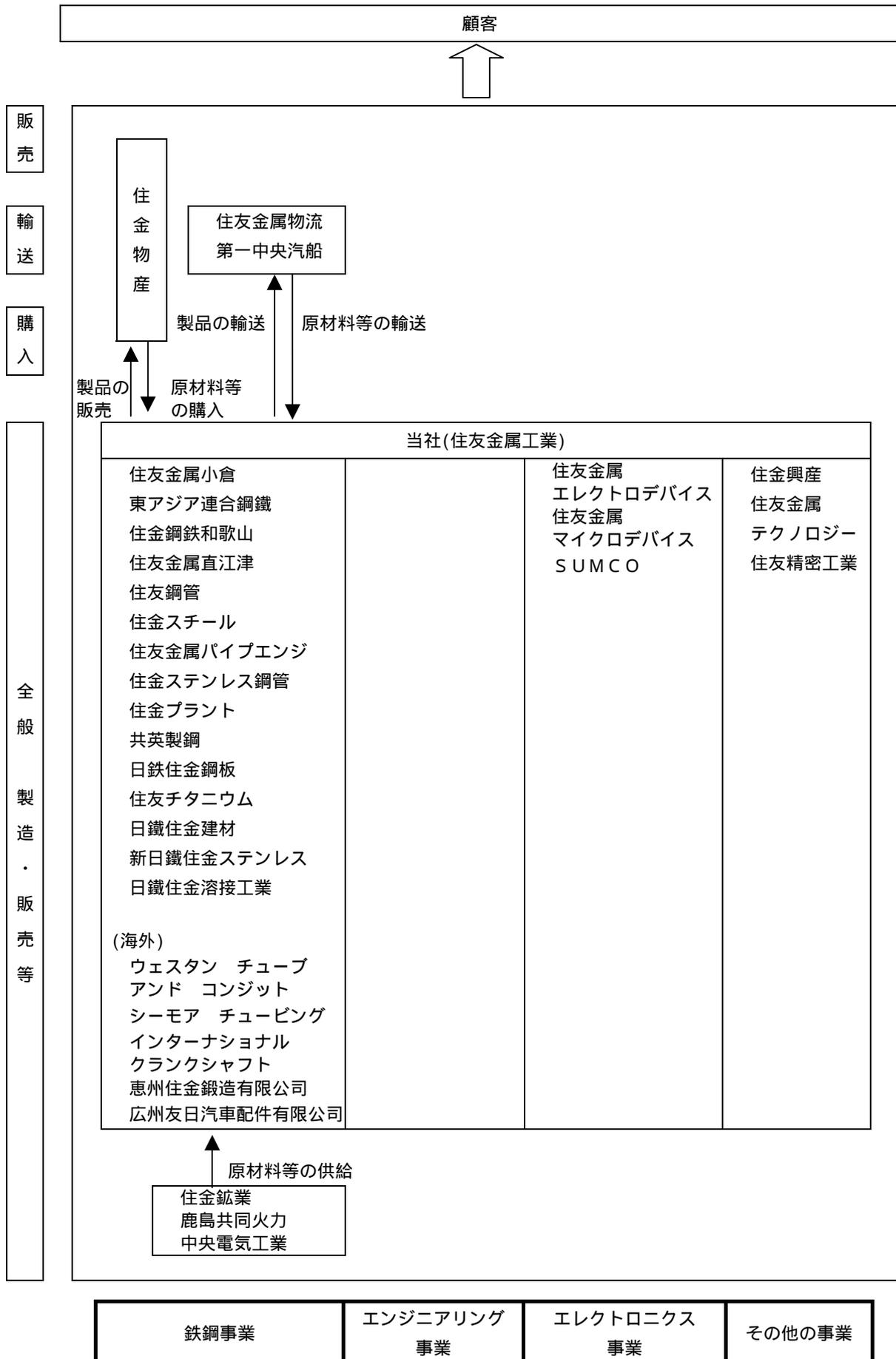
営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しており、利払いは連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、安定配当の継続をベースに株主の皆様への利益還元に取り組むことを基本方針としています。利益の還元については、経営成績、成長投資のための資金需要、財務体質の安定性確保など総合的に勘案し実施していきます。

当期の業績は 3 期連続して高水準の経常利益を確保できる見通しであり、また、「差別化の加速」に向けた設備投資を実行しつつも、財務体質の安定性も増してきましたので、中間配当は 1 株につき 5 円とすることを取締役会で決議しました。なお、期末配当についても 1 株につき 5 円とし、年間配当額は前期より 2 円増配の 1 株につき 10 円とする予定です。

2. 企業集団の状況



注 は連結子会社を表す。

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループには、100年以上のものづくりの歴史があります。さらに、400年にわたって受け継いできた「**確実を旨とし、浮利にはしらず**」「**住友の事業は社会に貢献する**」という言葉に代表される住友の事業精神があります。

この精神のもと、当社グループは、鉄づくりを通じて社会に貢献し、社会規範、企業倫理を遵守し、企業の責任を果たし、ステークホルダーの皆様から「**信頼される会社**」を目指します。

(2) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、「**質**」と「**規模**」のバランスを重視し、長期的に安定した成長を目指します。

「差別化の加速」と堅固な事業基盤の構築

鋼材の市場は高級品と汎用品に分化しており、今後、汎用品市場での競争はさらに激化していくと予想しています。当社グループには、シームレスパイプ、交通産機品、自動車向け薄板、特殊鋼など、優位性を持ち需要変動の影響を受けにくい事業と製品群があります。これらの強い分野をより強くするため、資源を集中していきます。

この方針に沿い、今次中期経営計画では4,800億円を設備投資にあて、事業基盤強化を実行しています。

「見えない資産」を磨く

質を重視した持続的成長のためには「**見えない資産**」が大切です。お客様資産、人的資産、技術資産などです。

お客様資産については、製品の提供にとどまらず、お客様の製品開発に参画し、技術者がお客様の現場を巡回するなど、お客様との信頼関係を強めるサービスを提供し、「**お客様評価No.1**」に向けた取り組みを継続します。

人的資産については、大量の定年退職者発生に備え、採用ソースの多様化による優秀な人材確保、教育プログラムの充実、退職者の再雇用などを実施し、強い現場を維持向上します。また、安全は全てに優先する課題であるとの認識のもと、職場の安全に注力します。

技術資産については、開発分野の選択と集中を進め、研究者を集中投入します。オリジナル研究設備導入や、大学などの外部研究機関との連携強化を含め、研究開発費を前中期経営計画対比20%増やします。

これらの戦略を実行して、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様から、「**やはり住友金属でない**」と言っただけの会社になることを目指します。

4. 中間連結財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

科 目	前年中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)		当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		増 減	前 期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	
	百万円	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円
売 上 高		768,222		847,807	79,585		1,602,720
売 上 原 価		561,355		636,373	75,018		1,156,622
売 上 総 利 益		206,866		211,433	4,567		446,098
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		71,738		69,703	2,034		142,324
営 業 利 益		135,128		141,730	6,601		303,774
営 業 外 収 益							
受 取 利 息	718		868			1,593	
受 取 配 当 金	3,345		3,083			6,682	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	24,570		21,362			41,803	
そ の 他	6,579	35,213	5,608	30,923	4,289	13,161	63,241
営 業 外 費 用							
支 払 利 息	5,419		6,674			11,468	
そ の 他	8,914	14,333	13,210	19,885	5,551	27,871	39,339
経 常 利 益		156,007		152,768	3,239		327,676
特 別 利 益							
投 資 有 価 証 券 売 却 益	-		6,903			4,508	
事 業 再 編 益	-		-			9,070	
持 分 変 動 益	-	-	-	6,903	6,903	16,263	29,842
特 別 損 失							
減 損 損 失	3,564		6,438			5,221	
事 業 再 編 損	1,106		-			2,756	
固 定 資 産 売 廃 却 損	-		-			1,921	
販 売 用 不 動 産 評 価 損	-	4,670	-	6,438	1,767	5,894	15,793
税金等調整前中間(当期)純利益		151,337		153,234	1,896		341,725
法人税、住民税及び事業税	49,491		39,434			106,790	
法人税等調整額	1,154	50,646	14,733	54,168	3,522	5,490	112,280
少数株主損益		906		2,159	1,252		2,719
中間(当期)純利益		99,784		96,907	2,877		226,725

(2) 中間連結貸借対照表

科 目	前年中間期	当 中 間 期	前 期	科 目	前年中間期	当 中 間 期	前 期
	(平成18年 9月30日)	(平成19年 9月30日)	(平成19年 3月31日)		(平成18年 9月30日)	(平成19年 9月30日)	(平成19年 3月31日)
(資産の部)	百万円	百万円	百万円	(負債の部)	百万円	百万円	百万円
流動資産	665,548	719,430	672,555	流動負債	805,289	862,372	807,856
現金及び預金	25,576	13,771	13,084	支払手形及び買掛金	368,358	358,663	340,457
受取手形及び売掛金	204,291	204,280	213,432	短期借入金	239,937	240,371	244,913
有価証券	0	-	-	コマーシャルペーパー	15,000	31,000	-
棚卸資産	375,249	444,625	385,604	一年内償還予定社債	15,000	21,500	15,000
その他	60,905	57,237	60,779	その他	166,993	210,837	207,484
貸倒引当金	474	485	344	固定負債	485,569	614,149	568,902
固定資産	1,454,815	1,686,246	1,629,000	社債	91,157	114,660	121,159
有形固定資産	1,016,724	1,078,806	1,046,278	長期借入金	306,637	370,901	336,910
建物及び構築物	233,505	246,516	233,820	退職給付引当金	31,564	26,085	27,528
機械装置及び運搬具	330,198	407,325	339,342	特別修繕引当金	4,247	532	4,259
土地	349,432	349,427	347,902	その他	51,962	101,969	79,043
建設仮勘定	93,957	65,226	115,433	負債合計	1,290,858	1,476,521	1,376,758
その他	9,629	10,310	9,778	(純資産の部)			
無形固定資産	5,654	4,378	5,055	株主資本	701,557	751,009	743,068
投資その他の資産	432,436	603,061	577,666	資本金	262,072	262,072	262,072
投資有価証券	395,689	558,148	538,102	資本剰余金	61,897	61,897	61,897
その他	37,564	45,806	40,277	利益剰余金	378,505	569,067	490,523
貸倒引当金	816	893	713	自己株式	917	142,027	71,424
				評価・換算差額等	85,778	130,963	137,738
				その他有価証券評価差額金	78,440	117,319	122,825
				繰延ヘッジ損益	1,987	758	541
				土地再評価差額金	11,938	13,847	16,804
				為替換算調整勘定	2,613	961	1,349
				少数株主持分	42,168	47,181	43,990
				純資産合計	829,505	929,154	924,798
資産合計	2,120,363	2,405,676	2,301,556	負債及び純資産合計	2,120,363	2,405,676	2,301,556

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前年中間期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
平成18年3月31日残高	262,072	61,897	300,587	545	624,011
中間期中の変動額					
剰余金の配当			21,611		21,611
役員賞与金			200		200
中間純利益			99,784		99,784
自己株式の取得				371	371
自己株式の処分		0			0
その他			56	0	56
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額(純額)					-
中間期中の変動額 合計	-	0	77,917	371	77,546
平成18年9月30日残高	262,072	61,897	378,505	917	701,557

	評価・換算差額等					少数株主 持分	+ + 純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
平成18年3月31日残高	84,385	-	16,061	3,591	96,855	41,305	762,172
中間期中の変動額							
剰余金の配当							21,611
役員賞与金							200
中間純利益							99,784
自己株式の取得							371
自己株式の処分							0
その他							56
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額(純額)	5,944	1,987	4,122	977	11,076	863	10,213
中間期中の変動額 合計	5,944	1,987	4,122	977	11,076	863	67,332
平成18年9月30日残高	78,440	1,987	11,938	2,613	85,778	42,168	829,505

当中間期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
平成19年3月31日残高	262,072	61,897	490,523	71,424	743,068
中間期中の変動額					
剰余金の配当			20,882		20,882
中間純利益			96,907		96,907
自己株式の取得				70,602	70,602
土地再評価差額金取崩額			2,519		2,519
その他				0	0
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額(純額)					-
中間期中の変動額 合計	-	-	78,543	70,602	7,941
平成19年9月30日残高	262,072	61,897	569,067	142,027	751,009

	評価・換算差額等					少数株主 持分	+ + 純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
平成19年3月31日残高	122,825	541	16,804	1,349	137,738	43,990	924,798
中間期中の変動額							
剰余金の配当							20,882
中間純利益							96,907
自己株式の取得							70,602
土地再評価差額金取崩額							2,519
その他							0
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額(純額)	5,506	1,300	2,957	387	6,775	3,191	3,584
中間期中の変動額 合計	5,506	1,300	2,957	387	6,775	3,191	4,356
平成19年9月30日残高	117,319	758	13,847	961	130,963	47,181	929,154

前期(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
平成18年3月31日残高	262,072	61,897	300,587	545	624,011
期中の変動額					
剰余金の配当			38,416		38,416
役員賞与金			200		200
当期純利益			226,725		226,725
自己株式の取得				70,879	70,879
自己株式の処分		0			0
土地再評価差額金取崩額			1,889		1,889
その他			62	0	62
株主資本以外の項目の 期中の変動額(純額)					-
期中の変動額 合計	-	0	189,935	70,878	119,057
平成19年3月31日残高	262,072	61,897	490,523	71,424	743,068

	評価・換算差額等					少数株主 持分	+ + 純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
平成18年3月31日残高	84,385	-	16,061	3,591	96,855	41,305	762,172
期中の変動額							
剰余金の配当							38,416
役員賞与金							200
当期純利益							226,725
自己株式の取得							70,879
自己株式の処分							0
土地再評価差額金取崩額							1,889
その他							62
株主資本以外の項目の 期中の変動額(純額)	38,440	541	742	2,242	40,883	2,685	43,568
期中の変動額 合計	38,440	541	742	2,242	40,883	2,685	162,625
平成19年3月31日残高	122,825	541	16,804	1,349	137,738	43,990	924,798

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前年中間期	当 中 間 期	増 減	前 期
	(自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 9月30日)	(自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月30日)		(自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)
	百万円	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前中間(当期)純利益	151,337	153,234	1,896	341,725
減 価 償 却 費	35,165	48,873	13,708	73,380
受取利息及び受取配当金	4,063	3,952	110	8,276
支 払 利 息	5,419	6,674	1,255	11,468
持分法による投資損益	24,570	21,362	3,207	41,803
売上債権の増減額	5,946	12,485	6,538	6,348
棚卸資産の増減額	23,787	55,952	32,165	37,246
仕入債務の増減額	20,833	23,325	2,492	8,212
その他の	3,067	8,030	11,097	13,759
小 計	169,348	155,295	14,053	310,927
法人税等の支払額	94,659	63,700	30,958	139,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,689	91,594	16,905	171,833
投資活動によるキャッシュ・フロー				
利息及び配当金の受取額	8,927	8,835	92	16,981
有形無形固定資産の取得による支出	58,865	67,326	8,461	127,107
その他の	6,315	7,793	1,477	1,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,621	50,697	7,075	108,934
財務活動によるキャッシュ・フロー				
利息の支払額	5,487	7,133	1,646	11,504
社債及び借入金の増減額	7,925	51,246	59,171	42,889
配当金の支払額	21,611	20,883	727	38,416
その他の	3,472	63,846	60,373	76,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	38,496	40,616	2,120	83,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	275	256	19	684
現金及び現金同等物の増減額	7,152	537	7,690	19,872
現金及び現金同等物の期首残高	32,596	13,020	19,575	32,596
連結範囲変動による現金及び現金同等物の増減	69	-	69	297
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	25,512	13,558	11,954	13,020

(注)現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	(平成18年 9月30日)	(平成19年 9月30日)	(平成19年 3月31日)
現金及び預金勘定	25,576 百万円	13,771 百万円	13,084 百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	63	213	63
現金及び現金同等物	25,512	13,558	13,020

(5) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1 . 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 73社

主要な連結子会社名

(株)住友金属小倉、東アジア連合鋼鉄(株)、(株)住金鋼鉄和歌山、(株)住友金属直江津、住友鋼管(株)、住金スチール(株)、住友金属物流(株)、(株)住友金属エレクトロデバイス、ウェスタン チューブアンド コンジット、シーモア チューピング、インターナショナル クランクシャフト、惠州住金鍛造有限公司、広州友日汽车配件有限公司

当中間期において、新たに営業を開始した1社のほか、前期まで持分法を適用していた住金鋳業(株)等2社を連結子会社に加えております。

2 . 持分法適用に関する事項

持分法適用の非連結子会社数 1社

会社名

関東特殊製鋼(株)

持分法適用の関連会社数 29社

主要な会社名

(株)SUMCO、鹿島共同火力(株)、共英製鋼(株)、第一中央汽船(株)、住金物産(株)、日鉄住金鋼板(株)、住友精密工業(株)、住友チタニウム(株)、日鐵住金建材(株)、新日鐵住金ステンレス(株)、中央電気工業(株)、日鐵住金溶接工業(株)、

当中間期において、連結子会社となった住金鋳業(株)等2社を持分法の適用範囲から除外しております。

なお、(株)SUMCOについては、同社の中間連結財務諸表に基づき持分法を適用しております。

なお、上記以外は、最近の半期報告書(平成18年12月19日提出)における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

(6) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

会計処理の変更

当期より平成19年度法人税法改正に伴い、有形固定資産の減価償却方法を改正後の法人税法に定める方法に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて当中間期の減価償却費は6,723百万円増加し、営業利益は6,718百万円、経常利益及び税金等調整前中間純利益はそれぞれ6,723百万円減少しております。

(7) 中間連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前年中間期(自平成18年4月1日至平成18年9月30日)

項 目	鉄 鋼	エンジニアリング	ILK外口	その他	計	消 去 又は全社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高及び営業利益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	711,021	4,966	29,328	22,905	768,222	-	768,222
(2)社外間の内部売上高又は振替高	252	-	-	8,587	8,840	(8,840)	-
計	711,274	4,966	29,328	31,493	777,063	(8,840)	768,222
営業費用	578,970	5,783	28,099	28,928	641,781	(8,686)	633,094
営業利益	132,303	816	1,229	2,565	135,282	153	135,128

当中間期(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

項 目	鉄 鋼	エンジニアリング	ILK外口	その他	計	消 去 又は全社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高及び営業利益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	789,482	7,144	30,340	20,839	847,807	-	847,807
(2)社外間の内部売上高又は振替高	447	-	-	10,109	10,556	(10,556)	-
計	789,930	7,144	30,340	30,948	858,364	(10,556)	847,807
営業費用	649,707	7,406	30,400	28,906	716,420	(10,343)	706,077
営業利益	140,222	261	59	2,041	141,943	212	141,730

前期(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

項 目	鉄 鋼	エンジニアリング	ILK外口	その他	計	消 去 又は全社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高及び営業利益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,488,861	10,784	59,389	43,685	1,602,720		1,602,720
(2)社外間の内部売上高又は振替高	1,347	-	-	19,191	20,538	(20,538)	
計	1,490,208	10,784	59,389	62,876	1,623,259	(20,538)	1,602,720
営業費用	1,192,413	12,455	56,922	57,329	1,319,121	(20,175)	1,298,946
営業利益	297,795	1,670	2,466	5,547	304,137	363	303,774

(注) 事業区分に属する主要な製品等

事業区分	主要な製品等	
鉄 鋼 事 業	鋼 板	構造用厚鋼板、低温用鋼板、ラインパイプ用鋼板、高張力鋼板、熱延鋼板、冷延鋼板、電磁鋼板、溶融亜鉛めっき鋼板、電気亜鉛めっき鋼板、カラー鋼板、プレコート鋼板、ステンレス精密圧延鋼板、純ニッケル鋼板他
	建 材 製 品	H形鋼、外法一定H形鋼、軽量H形鋼、鋼矢板、鋼管杭他
	鋼 管	継目無鋼管、電気抵抗溶接鋼管、大径アーク溶接鋼管、熱間溶接鋼管、異形鋼管、各種被覆鋼管、ステンレス鋼管他
	条 鋼	機械構造用鋼、冷間鍛造用鋼、ばね鋼、快削鋼、軸受鋼、スチールコード用線材、ステンレス条鋼他
	鉄道車両用品	車輪、車軸、台車、駆動装置、連結器他
	鑄 鍛 鋼 品	鍛造クランクシャフト、金型用鋼、アルミホイール、鉄塔用フランジ、溝型車輪、圧延用ロール他
	半 製 品	鋼片、製鋼用銑他
	そ の 他	チタン製品、製鉄技術、電力卸供給、鋼材等の海上・陸上輸送、設備メンテナンス、パイプライン、エネルギープラント、石灰石の販売他
エンジニアリング事業	橋梁・土木製品、システム建築他	
エレクトロニクス事業	ICパッケージ、電子部品他	
その他の事業	不動産の賃貸・販売、試験・分析事業他	

海外売上高

項 目	前中間期 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年 9 月30日)			当中間期 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 9 月30日)			前期 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日)		
	アジア	その他	計	アジア	その他	計	アジア	その他	計
海外売上高	百万円 212,442	百万円 101,065	百万円 313,507	百万円 251,535	百万円 107,195	百万円 358,730	百万円 448,733	百万円 213,639	百万円 662,372
連結売上高			768,222			847,807			1,602,720
連結売上高に占める 海外売上高の割合	27.7%	13.1%	40.8%	29.7%	12.6%	42.3%	28.0%	13.3%	41.3%

(注) 各区分に属する主な国又は地域

アジア：中国、韓国、東南アジア、中近東等

2. 1株当たり情報

項目	前年中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
1株当たり純資産額	163円98銭	194円13銭	189円81銭
1株当たり中間(当期)純利益	20円78銭	21円15銭	47円89銭
潜在株式調整後 1株当たり中間(当期)純利益	20円77銭	21円14銭	47円87銭
1株当たり中間(当期)純利益の算 定上の基礎			
連結損益計算書上の中間(当期) 純利益	99,784百万円	96,907百万円	226,725百万円
普通株式に係る中間(当期)純利 益	99,784百万円	96,907百万円	226,725百万円
普通株主に帰属しない金額の主 要な内訳			
普通株式の期中平均株式数	4,801,784,337株	4,582,408,654株	4,734,669,223株
潜在株式調整後1株当たり中間(当 期)純利益の算定上の基礎			
中間(当期)純利益調整額	31百万円	31百万円	67百万円
(うち持分法による投資利益)	(31百万円)	(31百万円)	(67百万円)

(記載の省略)

リース取引、有価証券、デリバティブ取引に関する注記事項については、決算短信における開示の
 必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

5. 中間個別財務諸表

(1) 中間損益計算書

科 目	前年中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)		当 中 間 期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		増 減 百万円	前 期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	
	百万円	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円
売 上 高		495,148		550,067	54,918		1,031,416
売 上 原 価		344,439		409,158	64,719		725,068
売 上 総 利 益		150,709		140,908	9,800		306,348
販売費及び一般管理費		34,539		34,933	394		67,803
営 業 利 益		116,170		105,975	10,195		238,544
営業外収益							
受取利息及び受取配当金	15,644		21,031			20,330	
そ の 他	4,964	20,608	4,442	25,473	4,865	9,787	30,118
営業外費用							
支 払 利 息	4,116		5,547			8,906	
そ の 他	5,289	9,405	10,587	16,134	6,728	19,113	28,020
経 常 利 益		127,372		115,314	12,058		240,643
特 別 利 益							
投資有価証券売却益	-	-	6,903	6,903	6,903	4,944	4,944
特 別 損 失							
減 損 損 失	-		1,945			-	
関係会社株式評価損	4,428		4,493			7,700	
事業再編損	2,811		-			3,724	
販売用不動産評価損	-	7,239	-	6,438	800	5,894	17,318
税引前中間(当期)純利益		120,133		115,779	4,354		228,269
法人税、住民税及び事業税	41,000		27,900			85,700	
法人税等調整額	1,801	42,801	15,313	43,213	411	3,315	89,015
中 間 (当 期) 純 利 益		77,332		72,566	4,765		139,254

(2) 中間貸借対照表

科 目	前年中間期 (平成18年 9月30日)	当 中 間 期 (平成19年 9月30日)	前 期 (平成19年 3月31日)	科 目	前年中間期 (平成18年 9月30日)	当 中 間 期 (平成19年 9月30日)	前 期 (平成19年 3月31日)
(資産の部)	百万円	百万円	百万円	(負債の部)	百万円	百万円	百万円
流動資産	602,358	623,958	593,203	流動負債	619,322	704,547	665,071
現金及び預金	15,529	6,141	4,365	支払手形及び買掛金	254,808	257,010	258,475
受取手形及び売掛金	116,905	115,911	130,733	短期借入金	164,433	179,682	180,560
棚卸資産	200,240	235,066	209,149	コマーシャルペーパー	15,000	31,000	-
繰延税金資産	10,001	8,381	11,387	一年内償還予定社債	15,000	21,500	15,000
その他	259,753	258,495	237,634	その他	170,079	215,355	211,035
貸倒引当金	71	37	66	固定負債	428,226	563,159	517,876
固定資産	1,118,664	1,311,619	1,280,575	社債	91,157	114,660	121,159
有形固定資産	627,938	677,017	663,558	長期借入金	288,667	357,752	322,674
建物及び構築物	134,250	147,591	138,134	繰延税金負債	15,740	58,108	47,968
機械装置及び運搬具	202,095	278,765	210,915	退職給付引当金	8,841	6,589	7,793
土地	207,398	215,915	217,502	特別修繕引当金	4,190	470	4,190
建設仮勘定	80,192	30,131	92,608	その他	19,628	25,578	14,090
その他	4,001	4,614	4,396	負債合計	1,047,548	1,267,707	1,182,948
無形固定資産	1,054	1,018	997	(純資産の部)			
投資その他の資産	489,670	633,583	616,019	株主資本	603,467	559,155	578,075
投資有価証券	479,401	581,183	574,710	資本金	262,072	262,072	262,072
その他	28,191	58,891	57,731	資本剰余金	61,829	61,829	61,829
貸倒引当金	22	163	68	資本準備金	61,829	61,829	61,829
投資損失引当金	17,899	6,328	16,353	利益剰余金	280,461	377,260	325,577
				利益準備金	38,374	38,374	38,374
				その他利益剰余金	242,086	338,885	287,203
				任意積立金	3,347	6,942	3,543
				繰越利益剰余金	238,739	331,943	283,659
				自己株式	896	142,007	71,404
				評価・換算差額等	70,007	108,714	112,755
				その他有価証券評価差額金	71,484	108,149	113,263
				繰延ヘッジ損益	1,477	565	508
				純資産合計	673,474	667,870	690,830
資産合計	1,721,022	1,935,577	1,873,779	負債及び純資産合計	1,721,022	1,935,577	1,873,779

(3) 中間株主資本等変動計算書

前年中間期(自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
平成18年3月31日残高	百万円 262,072	百万円 61,829	百万円 38,374	百万円 186,565	百万円 224,940	百万円 525	百万円 548,317
中間期中の変動額							
剰余金の配当				21,611	21,611		21,611
役員賞与金				200	200		200
中間純利益				77,332	77,332		77,332
自己株式の取得						371	371
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額 (純額)							-
中間期中の変動額 合計	-	-	-	55,520	55,520	371	55,149
平成18年9月30日残高	262,072	61,829	38,374	242,086	280,461	896	603,467

	評価・換算差額等			+ 純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高	百万円 77,407	百万円 -	77,407	百万円 625,724
中間期中の変動額				
剰余金の配当				21,611
役員賞与金				200
中間純利益				77,332
自己株式の取得				371
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額 (純額)	5,922	1,477	7,400	7,400
中間期中の変動額 合計	5,922	1,477	7,400	47,749
平成18年9月30日残高	71,484	1,477	70,007	673,474

(注) その他利益剰余金の内訳

	特別償却 準備金	特別修繕 準備金	圧縮記帳 積立金	繰越利益 剰余金	合計
平成18年3月31日残高	百万円 234	百万円 170	百万円 2,150	百万円 184,009	百万円 186,565
中間期中の変動額					
剰余金の配当				21,611	21,611
役員賞与金				200	200
中間純利益				77,332	77,332
その他利益剰余金の内訳 科目間の振替(純額)	205	292	293	790	-
中間期中の変動額 合計	205	292	293	54,729	55,520
平成18年9月30日残高	439	463	2,444	238,739	242,086

当中間期（自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月30日）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
平成19年 3月31日残高	百万円 262,072	百万円 61,829	百万円 38,374	百万円 287,203	百万円 325,577	百万円 71,404	百万円 578,075
中間期中の変動額							
剰余金の配当				20,883	20,883		20,883
中間純利益				72,566	72,566		72,566
自己株式の取得						70,602	70,602
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額 (純額)							-
中間期中の変動額 合計	-	-	-	51,682	51,682	70,602	18,919
平成19年 9月30日残高	262,072	61,829	38,374	338,885	377,260	142,007	559,155

	評価・換算差額等			+ 純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成19年 3月31日残高	百万円 113,263	百万円 508	112,755	百万円 690,830
中間期中の変動額				
剰余金の配当				20,883
中間純利益				72,566
自己株式の取得				70,602
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額 (純額)	5,114	1,073	4,040	4,040
中間期中の変動額 合計	5,114	1,073	4,040	22,960
平成19年 9月30日残高	108,149	565	108,714	667,870

(注) その他利益剰余金の内訳

	特別償却 準備金	特別修繕 準備金	圧縮記帳 積立金	繰越利益 剰余金	合計
平成19年 3月31日残高	百万円 330	百万円 755	百万円 2,457	百万円 283,659	百万円 287,203
中間期中の変動額					
剰余金の配当				20,883	20,883
中間純利益				72,566	72,566
その他利益剰余金の内訳 科目間の振替(純額)	3,243	146	9	3,399	-
中間期中の変動額 合計	3,243	146	9	48,283	51,682
平成19年 9月30日残高	3,574	901	2,466	331,943	338,885

前期(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
平成18年3月31日残高	262,072	61,829	38,374	186,565	224,940	525	548,317
期中の変動額							
剰余金の配当				38,416	38,416		38,416
役員賞与金				200	200		200
当期純利益				139,254	139,254		139,254
自己株式の取得						70,879	70,879
株主資本以外の項目の期中の変動額(純額)							-
期中の変動額 合計	-	-	-	100,637	100,637	70,879	29,757
平成19年3月31日残高	262,072	61,829	38,374	287,203	325,577	71,404	578,075

	評価・換算差額等			+ 純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
	百万円	百万円		百万円
平成18年3月31日残高	77,407	-	77,407	625,724
期中の変動額				
剰余金の配当				38,416
役員賞与金				200
当期純利益				139,254
自己株式の取得				70,879
株主資本以外の項目の期中の変動額(純額)	35,856	508	35,348	35,348
期中の変動額 合計	35,856	508	35,348	65,105
平成19年3月31日残高	113,263	508	112,755	690,830

(注) その他利益剰余金の内訳

	特別償却 準備金	特別修繕 準備金	圧縮記帳 積立金	繰越利益 剰余金	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
平成18年3月31日残高	234	170	2,150	184,009	186,565
期中の変動額					
剰余金の配当				38,416	38,416
役員賞与金				200	200
当期純利益				139,254	139,254
その他利益剰余金の内訳 科目間の振替(純額)	96	584	306	987	-
期中の変動額 合計	96	584	306	99,650	100,637
平成19年3月31日残高	330	755	2,457	283,659	287,203

参 考 資 料

対 1 8 年 度 下 半 期 比 較 損 益 計 算 書

1 . 連 結 決 算

科 目	1 9 年 度 上 半 期		1 8 年 度 下 半 期		増 減
	百万円	百万円	百万円	百万円	
売 上 高		847,807		834,497	13,309
売 上 原 価		636,373		595,266	
売 上 総 利 益		211,433		239,231	
販売費及び一般管理費		69,703		70,585	
営 業 利 益		141,730		168,645	26,915
受取利息及び受取配当金	3,952		4,212		
支 払 利 息	6,674		6,048		
持分法による投資損益	21,362		17,233		
その他の営業外損益	7,602	11,038	12,374	3,022	8,015
経 常 利 益		152,768		171,668	18,900

2 . 単 独 決 算

科 目	1 9 年 度 上 半 期		1 8 年 度 下 半 期		増 減
	百万円	百万円	百万円	百万円	
売 上 高		550,067		536,268	13,799
売 上 原 価		409,158		380,629	
売 上 総 利 益		140,908		155,638	
販売費及び一般管理費		34,933		33,264	
営 業 利 益		105,975		122,374	16,399
受取利息及び受取配当金	21,031		4,686		
支 払 利 息	5,547		4,790		
その他の営業外損益	6,144	9,339	9,001	9,104	18,443
経 常 利 益		115,314		113,270	2,043

(参考資料)

平成 19 年 10 月 30 日

住友金属工業株式会社

1. 全国粗鋼生産量

(単位：百万トン)

	第 1 四半期		上期	第 3 四半期		下期	通期
	第 1 四半期	第 2 四半期		第 3 四半期	第 4 四半期		
17 年度	2 9	2 8	5 7	2 8	2 8	5 6	1 1 3
18 年度	2 9	2 9	5 8	3 0	3 0	6 0	1 1 8
19 年度見通し	3 0	3 0	6 0	-	-	5 8 程度	1 1 8 程度

2. 当社粗鋼生産量(株住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住友金属和歌山を含む)

(単位：万吨)

	第 1 四半期		上期	第 3 四半期		下期	通期
	第 1 四半期	第 2 四半期		第 3 四半期	第 4 四半期		
17 年度	3 3 1	3 3 9	6 7 0	3 3 0	3 3 1	6 6 1	1 3 3 1
18 年度	3 2 9	3 3 8	6 6 7	3 3 4	3 3 7	6 7 1	1 3 3 8
19 年度見通し	3 2 1	3 4 0	6 6 1	-	-	6 9 0 程度	1 3 5 0 程度

3. 輸出比率(株住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住友金属和歌山を含む・・・金額ベース)

(単位：%)

	第 1 四半期		上期	第 3 四半期		下期	通期
	第 1 四半期	第 2 四半期		第 3 四半期	第 4 四半期		
17 年度	-	-	4 3	-	-	4 4	4 4
18 年度	4 6	4 6	4 6	4 6	4 7	4 7	4 6
19 年度見通し	4 6	4 6	4 6	-	-	4 4 程度	4 5 程度

4. 想定為替レート

(単位：円/\$)

	第 1 四半期		上期	第 3 四半期		下期	通期
	第 1 四半期	第 2 四半期		第 3 四半期	第 4 四半期		
17 年度	1 0 8	1 1 1	1 0 9	1 1 7	1 1 7	1 1 7	1 1 3
18 年度	1 1 4	1 1 6	1 1 5	1 1 8	1 2 0	1 1 9	1 1 7
19 年度見通し	1 2 1	1 1 8	1 1 9	-	-	1 1 5 程度	1 1 7 程度

5. 為替変動による業績影響(連結)

	18 年度	19 年度見通し
\$ 受取超過額	1.7 億 \$ / 年程度	1.7 億 \$ / 年程度

6. 鋼材平均価格(株住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住友金属和歌山を含む)

(単位：千円/トン)

	第 1 四半期		上期	第 3 四半期		下期	通期
	第 1 四半期	第 2 四半期		第 3 四半期	第 4 四半期		
17 年度	-	-	8 8 . 5	-	-	9 8 . 9	9 3 . 7
18 年度	9 5 . 5	9 7 . 9	9 6 . 7	1 0 0 . 1	1 0 6 . 2	1 0 3 . 2	1 0 0 . 0
19 年度見通し	1 0 2 . 3	1 0 8 . 8	1 0 5 . 6	-	-	1 0 5 程度	1 0 5 程度

7. セグメント別の売上高及び営業損益見通し(連結)

(単位:億円)

	19年度上期実績		19年度通期見通し	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益
鉄鋼	7894	1402	16070程度	2790程度
エンジニアリング	71	2	150程度	0程度
ILKテクノス	303	0	630程度	10程度
その他	208	18	450程度	50程度

<鉄鋼事業カンパニー別売上>

(単位:億円)

	19年度上期実績	19年度通期見通し
鋼板・建材(連結)	2990	6200程度
鋼管(連結)	3343	6700程度
交産品(連結)	509	1050程度
住金小倉(連結)	740	1530程度

8. 借入残高

(単位:億円)

	19/3末	19/9末	20/3末見通し
連結	7,179	7,784	8,150程度
単独	6,393	7,045	7,400程度

9. 設備投資額、減価償却費(有形固定資産)

(単位:億円)

	18年度		19年度見通し	
	連結	単独	連結	単独
設備投資額	1358	847	1990程度	1040程度
減価償却費	722	410	1070程度	690程度

10. 人員推移

実働人員

(単位:人)

	19/3末	19/9末	20/3末見通し
連結	24,982	25,376	25,100
単独	6,852	7,031	7,000

11. 損益変動要因分析(連結)

19/上半期 18/上半期

(為替レート TTM 19/上半期:119円/ドル 18/上半期:115円/ドル)

損益好転要因		損益悪化要因	
億円		億円	
(コスト改善)	75	(原料・資材)	535
(評価損益)	190	(償却<税制改正>)	70
(持分法損益)	60	(固定費増)	75
(為替差)	35	(高炉切替影響)	50
(販売価格他)	430	(株)SUMCOの	
		H18/上一過性の収益)	90
合計	790	合計	820
差引経常利益 32億円悪化 19/上:1527億円 18/上:1560億円			

以上